平成30年度 授業シラバスの詳細内容

科目名(英)	簿記入門 (Introduction to Bookkeeping) 【吉本クラス】			授業コード	E032101
担当教員名	吉本　圭一郎			科目ナンバリングコード	E10101
配当学年	1	開講期	前期		
必修・選択区分	必修	単位数	2		
履修上の注意または履修条件	授業は，簿記の初学者を対象として行います。授業では毎回教科書を使用しますので，必ず用意してください。				
受講心得	1. 簿記は積み重ねの学問です。授業を休まないようにしてください(欠席すると講義がまったく理解できなくなるおそれがあります)。 2. 電卓(計算機)を必ず持参すること。 3. 教科書を必ず購入すること。				
教科書	検定簿記講義／3級商業簿記(中央経済社)				
参考文献及び指定図書	合格テキスト　日商簿記3級　TAC出版 合格トレーニング　日商簿記3級　TAC出版				
関連科目	簿記原理，会社簿記，財務諸表論，原価計算論，管理会計論A・B，財務管理論，経営分析				

授業の目的	会計は，「ビジネスの共通言語」といわれるように，ビジネスで有用な知識・技術のひとつです。そしてその会計は，簿記の知識・技術をベース(基礎)にしています。簿記は約500年以上も前から存在していますが，その基本は昔から今日まで変わっていません。本授業は，そのような変わらない簿記の基本を理解し，その技術を習得することを目的としています。
授業の概要	簿記の基本は，内容をしっかりと理解したうえで，学習者自らが手を動かし，繰り返し練習しないと身に付きません。授業は，はじめにテキストやレジュメを用いて内容を説明した後，確認問題を解きながら理解を深める，という形で講義を進めていきます。受講生は，授業で学んだことを自宅で必ず復習してください。

○授業計画	
学修内容	学修課題(予習・復習)
第 1 週 ： オリエンテーション 本授業の目的や進め方，簿記の学習の仕方などについて講義します。また簿記関係の資格についても説明します。	配布資料(「会計とは？簿記とは？」)についての復習(0.5時間)
第 2 週 ： 簿記の意義としくみ(1) 簿記の意義や目的，会計期間などについて学びます。	教科書(P1～4)，レジュメの確認問題の復習(1時間)
第 3 週 ： 簿記の意義としくみ(2) 貸借対照表や損益計算書といった財務諸表について学習します。また簿記の歴史についても言及します。	教科書(P5～17)，レジュメの確認問題の復習(1時間)
第 4 週 ： 仕訳と転記(1) 取引や勘定，勘定記入などについて学習します。	教科書(P18～27)，レジュメの確認問題の復習(2時間)
第 5 週 ： 仕訳と転記(2) 取引の勘定への転記について学習します。	教科書(P28～34)，レジュメの確認問題の復習(2時間)
第 6 週 ： 仕訳帳と元帳 帳簿の種類，とくに仕訳帳の記入から元帳への転記について学習します。	教科書(P35～41)，レジュメの確認問題の復習(1時間)
第 7 週 ： 決算(1)	

決算の意義と手続き，試算表の作成について学習します。	教科書（P42～49），レジュメの確認問題の復習（2時間）
第 8 週 ： 決算（2） 引き続き決算について学習します。ここでは帳簿の締切りと財務諸表の作成について学びます。	教科書（P49～61），レジュメの確認問題の復習（2時間）
第 9 週 ： 現金と預金（1） 現金取引について学習します。	教科書（P62～69），レジュメの確認問題の復習（1時間）
第10週： 現金と預金（2） 当座預金取引，小口現金取引について学習します。	教科書（P69～78），レジュメの確認問題の復習（1時間）
第11週： 繰越商品・仕入・売上（1） 商品売買取引における3分法の処理について学習します。	教科書（P79～84），レジュメの確認問題の復習（1時間）
第12週： 繰越商品・仕入・売上（2） 商品売買取引における諸掛の処理，値引・返品の処理，そして仕入帳と売上帳の記帳方法について学習します。	教科書（P85～95），レジュメの確認問題の復習（1時間）
第13週： 繰越商品・仕入・売上（3） 商品有高帳の記帳方法（先入先出法，移動平均法）について学習します。	教科書（P95～99），レジュメの確認問題の復習（1時間）
第14週： これまでの復習（1） 取引の仕訳から試算表を作成し財務諸表の作成に至るまで，一連の簿記の記帳技術について復習します。	配布資料（確認問題その1「簿記一巡の流れ」）の復習（2時間）
第15週： これまでの復習（2） 複式簿記の歴史など理論的背景を学習するとともに，これまでの授業の総括をおこないます。	配布資料（確認問題その2「簿記・会計の発展と歴史」など）の復習（2時間）
第16週： 期末試験 これまでの授業内容を試験範囲とします。筆記用具と電卓（計算機）以外は，持ち込み不可です。	試験問題，解答例。

授業の運営方法	（1）授業の形式	「講義形式」
	（2）複数担当の場合の方式	
	（3）アクティブ・ラーニング	「アクティブ・ラーニング科目」
地域志向科目	該当しない	
備考	質問等はEメールでも受け付けます。	

○単位を修得するために達成すべき到達目標	
【関心・意欲・態度】	簿記の意義や目的について説明できる。
【知識・理解】	簿記の基礎的知識を理解している。
【技能・表現・コミュニケーション】	簿記の基礎的技術を身につけている。
【思考・判断・創造】	簿記の論理的思考を身につけている。

○成績評価基準（合計100点）	合計欄	70点

到達目標の各観点と成績評価方法の関係および配点	期末試験・中間確認等（テスト）	レポート・作品等（提出物）	発表・その他（無形成果）
【関心・意欲・態度】 ※「学修に取り組む姿勢・意欲」を含む。			**15点**
【知識・理解】 ※「専門能力〈知識の獲得〉」を含む。	**70点**		
【技能・表現・コミュニケーション】 ※「専門能力〈知識の活用〉」「チームで働く力」「前に踏み出す力」を含む。		**5点**	
【思考・判断・創造】 ※「考え抜く力」を含む。		**10点**	

（「人間力」について）

※以上の観点に、「こころの力」（自己の能力を最大限に発揮するとともに、「自分自身」「他者」「自然」「文化」等との望ましい関係を築き、人格の向上を目指す能力）と「職業能力」（職業観、読解力、論理的思考、表現能力など、産業界の一員となり地域・社会に貢献するために必要な能力）を加えた能力が「人間力」です。

〇配点の明確でない成績評価方法における評価の実施方法と達成水準の目安

成績評価方法	評価の実施方法と達成水準の目安
レポート・作品等（提出物）	授業時に課題やレポートを出しますので，必ず提出してください。達成水準の目安は以下の通りです。 Sレベル・・・単位を修得するために達成すべき到達目標を満たしている。 Aレベル・・・単位を修得するために達成すべき到達目標をほぼ満たしている。 Bレベル・・・単位を修得するために達成すべき到達目標をかなり満たしている。 Cレベル・・・単位を修得するために達成すべき到達目標を一部分満たしている。
発表・その他（無形成果）	授業中に適宜質問をします。優れた解答をした学生は，記録して加点することがあります。